

5. 「福岡市の保健福祉」に関する調査結果の総括

福岡市では、高齢者や障がいのある人など、すべての市民が一人の人間として尊重され、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域分野、健康・医療分野、高齢者分野、障がい者分野などで、さまざまな保健福祉施策を実施し、これらを通じて、「ハード・ソフト両面に調和のとれたまち」の実現を目指している。

こうした中、市民の「保健福祉」に対するニーズ等を把握し、今後の施策を検討するための参考として、調査結果を確認したい。

（１）福岡市の保健福祉施策への関心と評価（問 17～19）

福岡市の保健福祉施策の中で関心がある内容（問 17）は、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」（40.7%）、「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」（31.9%）、「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」（31.0%）、「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」（30.5%）など、必要な施策が確実に実行されるための制度や体制に関する施策への関心度が高い。性・年代別には、どの施策も高い年代ほど関心度も高い傾向にあり、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」、「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」は、男女ともに 50 代以上で特に高い関心が持たれている。これに対し、低い年代では、保健福祉施策全般への関心度は相対的に低い状況にあるが、女性 18～29 歳・30 代では、「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」への関心度が高い。

福岡市の保健福祉施策に対する満足度（問 18）は、保健福祉全体の総合的な評価では『満足』（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」）が 25.5%、『不満』（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」）が 16.3%で、やや『満足』の割合が高いものの、各施策の内容については、全体的に「わからない」とする回答が多く、日頃、保健福祉施策について、具体的に意識したことがない人が多いためと考えられる。また、全体的に 18～29 歳の低い年代では、『不満』の割合が低い傾向にあり、保健福祉施策の対象となる当事者意識があまりないため、具体的な不満を感じるものが少ないものと考えられる。

各施策の中で、『満足』の割合が高いのは、「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」（45.8%）、「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」（35.7%）、「インフルエンザや O157 などの感染症や食中毒の予防」（33.3%）などとなっている。これに対し、『不満』の割合が高いのは、「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」（23.2%）、「高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備（手すりの設置など）」（20.4%）、「地域での福祉活動を担う人材の育成」（18.6%）などが多い。「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」は、『満足』、『不満』ともに上位となっているが、低い年代も含めて、公共施設等のバリアフリー化の現状は、直接見たり関わるが多く、「わからない」人が少ないためと考えられる。『満足』が多い「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」は、男女とも年代が高いほど『満足』の割合が高く、年代が低いほど「わからない」の割合が高い傾向がある。女性 18～29 歳・30 代の関心度が高い施策（問 17）であるものの、満足度としては高くない。「地域での福祉活動を担う人材の育成」は、「わからない」の割合が高いものの、男女とも 18～29 歳の低

い年代で『満足』の割合が最も高く、『不満』の割合が低い。「保健福祉分野での ICT(情報通信技術)等の利活用」は、「わからない」の割合が高いものの、男女とも 18～29 歳の低い年代で『満足』の割合が最も高く、ICT に慣れ親しんだ世代からは一定の評価がなされている。

今後福岡市が力を入れていくべき施策(問 19)は、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」(41.5%)、「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」(32.4%)、「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」(32.0%)など、関心がある内容(問 17)と同じ内容が上位となっている。性・年代別には、男女とも 60 代では「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」の割合が 5 割台となっており、50 代から割合が高くなり、より身近な問題として意識され始めている状況がうかがえる。そのほか、概ね各施策とも高い年代ほど割合も高くなる傾向にあるが、「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」は、男女とも 30 代の割合が高い。このほか、「保健福祉分野での ICT(情報通信技術)等の利活用」は、男性の比較的低い年代の割合が高いのに対し、「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」、「障がい者の特性に応じた福祉サービスの提供」は年代による差は小さい。

(2) 情報の入手方法(問 20～22)

行政情報に限らず日常的な情報収集のための媒体(メディア)として利用しているもの(問 20)は、「テレビ・ラジオ」(67.7%)、「ウェブサイト」(58.3%)が主な手段となっているが、「地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館だよりなど)」(46.7%)も比較的に利用されている。

性・年代別には、男女とも 60 代以上では「テレビ・ラジオ」が最も多いのに対し、30 代～50 代は、「ウェブサイト」が最も多く、50 代と 60 代を境に、よく利用するメディアに変化がみられる。また、男性 18～29 歳では、「YouTube(ユーチューブ)」(68.2%)が「ウェブサイト」(67.0%)を上回って最も多く、女性 18～29 歳では、「Instagram(インスタグラム)」(73.2%)が最も多いほか、「YouTube(ユーチューブ)」(66.1%)も「ウェブサイト」(64.6%)を上回っている。このほか、「LINE(ライン)」、「X(エックス・旧ツイッター)」、「TikTok(ティックトック)」など、低い年代ほど利用率は高い傾向にある。これに対し、「地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館だよりなど)」、「新聞・フリーペーパー」は、低い年代ほど利用率が低く、男女とも 18～29 歳では、どちらも 1 割台の低い利用率となっている。情報収集の媒体は、世代により変化し、紙からデジタルが主流となり、ウェブサイトから SNS へとさらに変化している状況がうかがえる。ただし、行政情報に限らない情報入手手段であるため、低い年代での SNS 化の傾向がより顕著であると考えられる。

保健・医療・福祉に関する必要な情報を日頃から得ることができているか(問 21)は、『得られている』(＝「十分得られている」＋「ある程度得られている」)の割合が 51.4%であるのに対し、『得られていない』(＝「全く得られていない」＋「あまり得られていない」＋「特に必要な情報はない」)の割合は 46.9%で、『得られている』と『得られていない』は拮抗している。性・年代別には、男女とも年代が高いほど『得られている』の割合が高い傾向となっており、保健・医療・福祉に関する情報への関心度、必要性の高さで、『得られている』と『得られていない』に分かれていると考えられる。保健・医療・福祉分野は、幅広い施策が提供されており、必要性に関わらず、多くの市民が日頃から関連情報に接する機会が増えるよう、さらに情報発信を充実することが重要といえる。

保健・医療・福祉に関する情報の入手方法（問 22）は、「市政だより」（64.7%）が主流で、そのほかの入手先では「テレビ・ラジオ」（39.7%）、「家族・友人・知人」（29.5%）などがやや多い。性・年代別には、男女とも高い年代ほど「市政だより」が多いのに対し、男女とも低い年代ほど「SNS（エックス・旧ツイッター、ライン、インスタグラムなど）」の割合が高く、さまざまな情報収集の媒体（問 20）と同様の結果となっており、18～29 歳では、「市政だより」の割合が他の年代と比較しても特に低く、「SNS」が最も高い割合となるなど、保健・医療・福祉に関する情報も「SNS」が主流になりつつある。また、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳・30 代では「家族・友人・知人」も多くなっており、同居する親が重要な情報源となっている状況も考えられる。

（3）「福岡 100」の認知状況（問 23～24）

「福岡 100」の認知状況（問 23）は、「知らない」が 77.3%であるのに対し、『聞いたことがある』（＝「名称を聞いたことがあり、取組みも知っている」＋「名称を聞いたことはあるが、取組みは知らない」）は 18.7%で、認知度としては十分な状況ではない。性・年代別にも大きな差はないが、男性 70 歳以上と女性 60 代以上では、『聞いたことがある』の割合が 2 割を超えてやや高い。

「福岡 100」の認知者の認知経路（問 24）は、「市政だより」（71.8%）が主流で、そのほかの経路では「テレビ・ラジオ」（24.0%）、「福岡市ホームページ」（18.6%）などがやや多い。性・年代別には、経路で上位の「市政だより」、「テレビ・ラジオ」、「福岡市ホームページ」などは、年代が高いほど割合も高い傾向となっているが、「市政だより」は、女性 18～29 歳では特に低い割合となっている。認知経路として「市政だより」、「テレビ・ラジオ」が多いのは、保健・医療・福祉に関する情報の入手方法（問 22）と同様であるが、女性の 18～29 歳の入手方法として多かった「SNS」

（問 22）は、「福岡 100」の認知経路としては少なく、男女とも 18～29 歳では「一般のウェブサイト」が多くなっており、何らかの情報に付随する形で知った人が多い状況がうかがえる。

（4）終活についての家族との話（問 25）

家族と終活について話したこと（問 25）は、「話したことはないが、話した方がよいと思っている」（48.9%）、「話したことがある」（33.1%）、「話す予定はない」（15.8%）となっており、実際に話したことがある人は一部であるものの、多くの人は話す必要性を認識している。性・年代別には、男女とも年代が高いほど「話したことがある」の割合が高く、年代が低いほど「話す予定はない」の割合が高い傾向になっている。18～29 歳では主に親との話、60 代以上では主に配偶者や子どもとの話を「家族との話」と想定している人が多いと考えられるが、年代が高いと、より現実的な話として家族と話す必要性を感じる人が多いものの、低い年代では、子どもから親に対して自ら切り出して「話す予定はない」とする人が多いものと考えられる。

保健福祉施策は、特に低い年代などでは、必要性に迫られないと認知や関心を持たれにくい分野とみられるが、さまざまな分野で、全ての市民が尊重され、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けるための取り組みが行われており、日頃、意識していなくてもその恩恵を受けている可能性はあり、さまざまな施策の情報を発信していくことが重要となる。

市民も、保健福祉にかかる制度や体制に関心を持っており、必要性に迫られたときに、安心してサービス等を受けられるよう、日常的な備えを強化していくことが重要であり、その上で、保健福祉の具体的な取り組みへの理解を深め、さらに市民の満足度を高められるよう、ニーズを汲み取りながら、各分野の施策を充実していくことが求められる。

市民は、市政だよりを通して、関連情報を得ている人が多いが、低い年代では日常的に SNS を通してさまざまな情報を得ており、保健福祉関連の情報発信のあり方も、利用される媒体の変化に合わせて、柔軟に対応していくことが求められる。

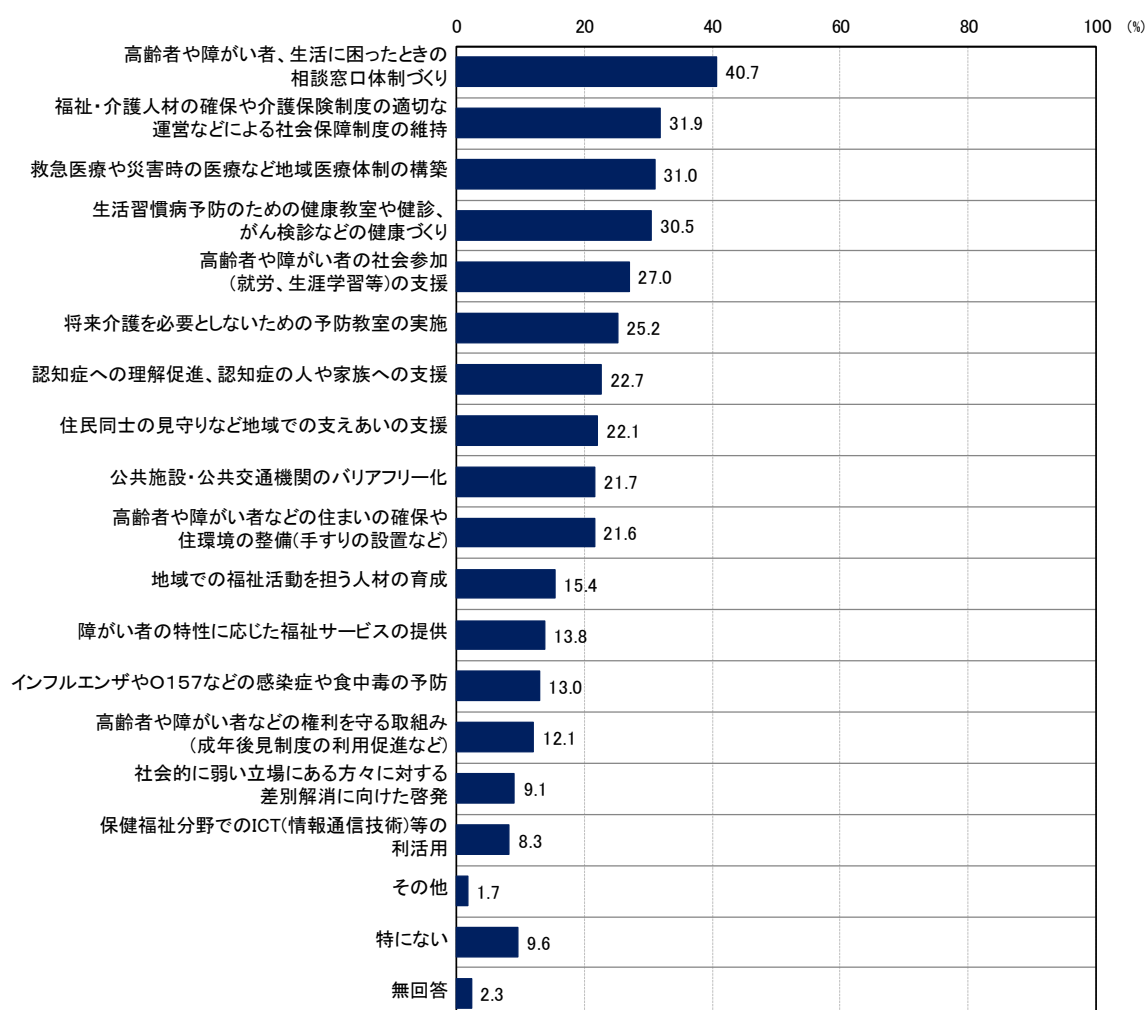
6. 「福岡市の保健福祉」に関する調査結果

(1) 関心のある保健福祉施策

問 17 福岡市の保健福祉施策の中で、関心がある内容について、特にあてはまるものを **5つまで**選んでください。

福岡市の保健福祉施策の中で、関心がある内容について聞いたところ、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」が40.7%と最も多く、次いで「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」(31.9%)、「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」(31.0%)、「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」(30.5%)となっている。

図表 関心のある保健福祉施策【全体】※複数回答（5つまで）



■ 全体(N=2,300)

性別にみると、女性が男性に比べて5ポイント以上高くなっているのは、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」（女性 43.9%－男性 36.7%）、「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」（女性 24.7%－男性 17.9%）、「将来介護を必要としないための予防教室の実施」（女性 27.2%－男性 22.1%）。逆に、男性が女性に比べて5ポイント以上高くなっているのは、「特にない」（男性 13.1%－女性 7.0%）、「保健福祉分野での ICT（情報通信技術）等の利活用」（男性 11.6%－女性 6.2%）である。

性・年代別にみると、男女とも年代が概ね高いほど「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」、「高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備（手すりの設置など）」の割合が高くなっている。女性では、概ね年代が低いほど「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」の割合が高くなっている。

また、男性 30 代・40 代では「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳・30 代では「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」が最も関心の高い施策となっている。

図表 関心のある保健福祉施策【性・年代別】※複数回答（5つまで）

単位：％														
		調査数	高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり	福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持	救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築	生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康教	高齢者や障がい者の社会参加（就労、生涯学習等）の支援	将来介護を必要としないための予防教室の実施	認知症への理解促進、認知症の人や家族への支援	住民同士の見守りなど地域での支えあいの支援	公共交通機関のバリアフリー化	高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備（手すりなどの設置など）	地域での福祉活動を担う人材の育成	障がい者の特性に応じた福祉サービスの提供
全 体		2,300	40.7	31.9	31.0	30.5	27.0	25.2	22.7	22.1	21.7	21.6	15.4	13.8
性・年代別	男性計	913	36.7	29.7	28.8	30.8	27.6	22.1	20.5	20.6	17.9	21.1	16.4	12.9
	18～29歳	88	19.3	11.4	20.5	30.7	23.9	18.2	13.6	14.8	18.2	11.4	12.5	11.4
	30代	91	27.5	17.6	29.7	28.6	23.1	20.9	8.8	15.4	17.6	8.8	7.7	16.5
	40代	147	29.9	22.4	32.7	31.3	26.5	19.0	17.0	21.8	18.4	13.6	6.8	14.3
	50代	182	42.9	34.6	27.5	35.2	28.6	25.3	24.2	19.8	20.3	21.4	15.9	14.8
	60代	159	43.4	35.8	31.4	35.2	39.6	22.6	22.0	17.0	17.0	28.3	20.8	8.8
	70歳以上	235	42.1	37.9	28.5	26.0	23.4	23.4	26.4	27.7	16.2	29.8	23.8	13.2
	女性計	1,354	43.9	33.5	32.7	30.9	26.8	27.2	24.3	23.3	24.7	22.2	14.5	14.5
	18～29歳	127	16.5	14.2	33.1	43.3	19.7	23.6	18.9	18.9	22.0	8.7	4.7	7.9
	30代	191	34.0	26.2	38.7	39.3	23.6	15.2	15.2	22.5	27.2	16.2	11.5	14.7
	40代	244	45.9	27.9	35.2	35.7	28.7	23.4	29.1	21.3	25.0	18.0	13.1	18.4
	50代	223	52.9	38.1	35.4	26.5	34.5	30.9	30.9	20.2	24.7	22.0	16.6	16.1
	60代	228	52.6	46.1	33.3	29.8	32.0	33.8	28.5	21.1	25.4	30.7	18.0	14.9
	70歳以上	327	47.4	37.9	25.1	22.0	21.4	31.8	21.4	30.6	23.9	28.1	17.1	12.8

		調査数	インフルエンザや食中毒の予防など	高齢者や障がい者などの権利を守る取り組み（成年後見制度の利用促進など）	社会的に弱い立場にある方々に対する差別の解消に向けた啓発	保健福祉分野でのICT（情報通信技術）等の活用	その他	特にな	無回答
全 体		2,300	13.0	12.1	9.1	8.3	1.7	9.6	2.3
性・年代別	男性計	913	13.9	12.3	10.2	11.6	1.6	13.1	1.9
	18～29歳	88	22.7	15.9	14.8	17.0	2.3	23.9	－
	30代	91	15.4	6.6	7.7	9.9	1.1	27.5	1.1
	40代	147	17.0	8.8	8.8	20.4	1.4	13.6	1.4
	50代	182	8.2	8.8	14.3	13.2	1.6	7.7	1.1
	60代	159	11.3	20.1	7.5	8.2	1.3	8.8	1.3
	70歳以上	235	14.5	12.8	8.9	6.0	2.1	10.2	4.3
	女性計	1,354	12.5	12.1	8.3	6.2	1.7	7.0	2.2
	18～29歳	127	21.3	8.7	14.2	3.9	－	14.2	1.6
	30代	191	17.8	10.5	8.4	11.0	2.1	11.0	0.5
	40代	244	11.5	11.9	6.6	5.7	3.7	6.1	－
	50代	223	4.5	16.6	7.2	9.0	2.7	4.0	0.9
	60代	228	8.3	10.5	7.5	3.9	－	3.9	1.3
	70歳以上	327	14.4	12.8	8.0	4.6	1.2	6.7	6.4

(2) 保健福祉施策に対する満足度

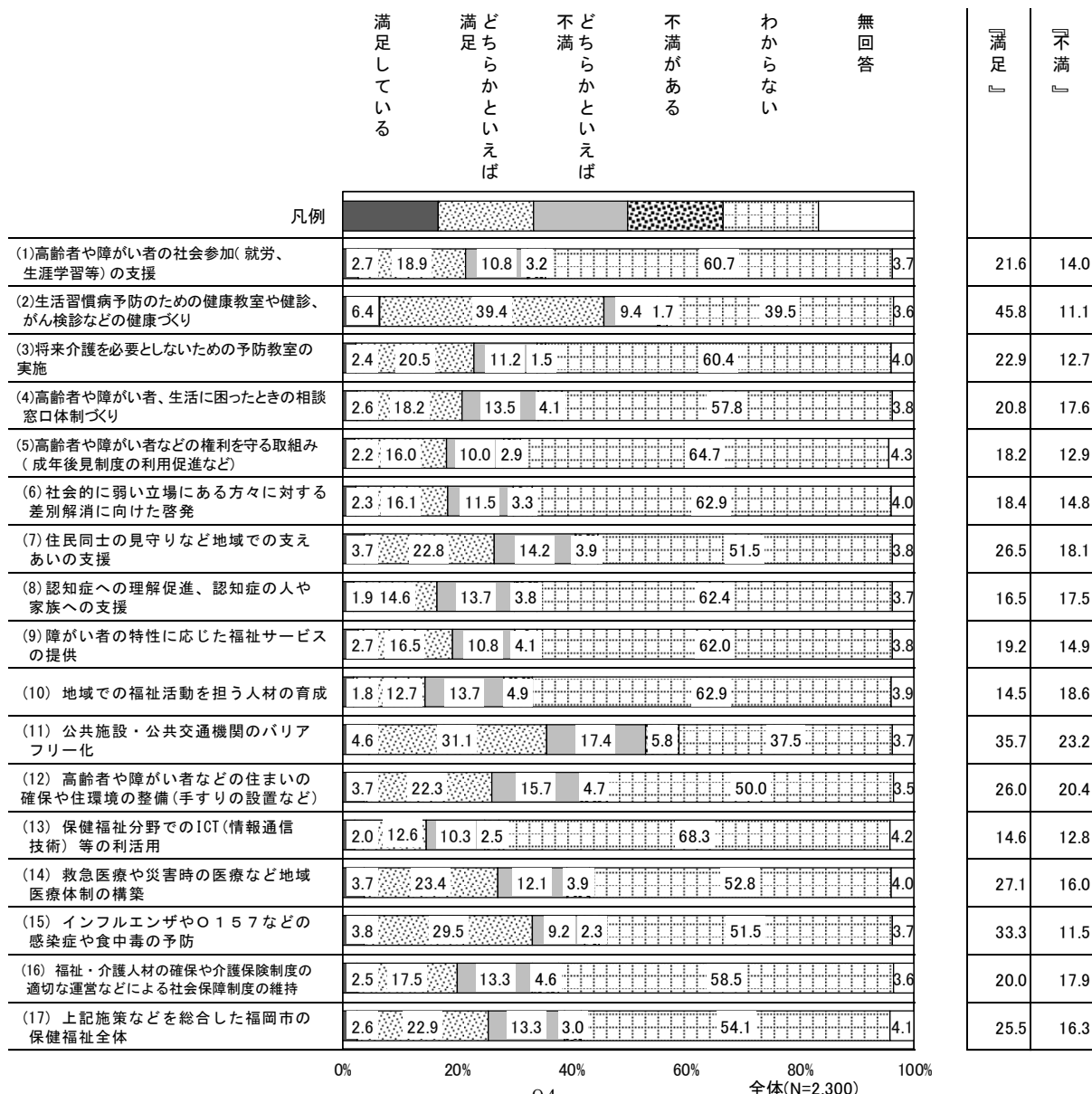
問 18 福岡市の保健福祉施策について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(17)のそれぞれについて、あてはまるものを**1つつ**選んでください。

福岡市の保健福祉施策について満足度を聞いたところ、『満足』（＝「満足している」＋「どちらかといえば満足」）は、「生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり」が45.8%と最も多く、次いで「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」（35.7%）、「インフルエンザやO157などの感染症や食中毒の予防」（33.3%）となっている。

『不満』（＝「不満がある」＋「どちらかといえば不満」）は、「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」が23.2%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備（手すりの設置など）」（20.4%）、「地域での福祉活動を担う人材の育成」（18.6%）となっている。

総合した保健福祉全体の満足度は、『満足』が25.5%、『不満』が16.3%となっている。

図表 保健福祉施策に対する満足度【全体】



① 高齢者や障がい者の社会参加(就労、生涯学習等)の支援

性別にみると、男性では『満足』(24.9%)の割合が女性(19.6%)に比べて5.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも30代で「わからない」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 高齢者や障がい者の社会参加(就労、生涯学習等)の支援【性・年代別】

									単位: %	
		調 査 数	満 足 し て い る	満 足 ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満 が あ る	わ か ら な い	無 回 答	『満 足 』	『不 満 』
全 体		2,300	2.7	18.9	10.8	3.2	60.7	3.7	21.6	14.0
性・ 年 代 別	男性計	913	3.8	21.1	12.6	3.4	57.0	2.1	24.9	16.0
	18～29歳	88	10.2	19.3	4.5	2.3	62.5	1.1	29.5	6.8
	30代	91	2.2	8.8	4.4	3.3	80.2	1.1	11.0	7.7
	40代	147	3.4	13.6	12.9	3.4	65.3	1.4	17.0	16.3
	50代	182	3.8	22.5	15.4	2.7	54.9	0.5	26.3	18.1
	60代	159	1.3	24.5	17.0	5.0	51.6	0.6	25.8	22.0
	70歳以上	235	4.3	28.1	13.6	3.4	45.5	5.1	32.4	17.0
	女性計	1,354	1.9	17.7	9.7	3.1	63.7	3.9	19.6	12.8
	18～29歳	127	4.7	20.5	4.7	3.1	66.9	－	25.2	7.8
	30代	191	3.1	12.6	4.7	2.1	77.5	－	15.7	6.8
	40代	244	1.2	16.4	8.6	2.9	69.3	1.6	17.6	11.5
	50代	223	1.3	17.9	11.7	3.6	63.7	1.8	19.2	15.3
	60代	228	0.9	17.1	14.9	3.5	61.4	2.2	18.0	18.4
	70歳以上	327	1.8	21.4	10.4	3.4	52.3	10.7	23.2	13.8

② 生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性では概ね年代が高いほど『満足』の割合が高くなり、男女とも概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり【性・年代別】

単位: %										
		調 査 数	満 足 し て い る	満 足 ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満 が あ る	わ か ら な い	無 回 答	『満 足 』	『不 満 』
全 体		2,300	6.4	39.4	9.4	1.7	39.5	3.6	45.8	11.1
性・ 年 代 別	男性計	913	5.9	37.3	10.8	2.6	41.1	2.2	43.2	13.4
	18～29歳	88	8.0	26.1	2.3	—	62.5	1.1	34.1	2.3
	30代	91	4.4	15.4	8.8	3.3	68.1	—	19.8	12.1
	40代	147	4.1	29.3	13.6	3.4	48.3	1.4	33.4	17.0
	50代	182	4.9	39.6	11.0	2.7	41.2	0.5	44.5	13.7
	60代	159	6.9	41.5	17.6	3.8	28.9	1.3	48.4	21.4
	70歳以上	235	7.2	50.2	8.5	1.7	26.8	5.5	57.4	10.2
	女性計	1,354	6.4	41.4	8.6	1.0	38.7	3.9	47.8	9.6
	18～29歳	127	7.1	25.2	3.9	1.6	62.2	—	32.3	5.5
	30代	191	8.9	31.9	6.8	1.6	50.8	—	40.8	8.4
	40代	244	7.4	43.9	7.8	0.8	38.9	1.2	51.3	8.6
	50代	223	4.5	50.7	5.8	1.3	36.8	0.9	55.2	7.1
	60代	228	6.1	47.8	16.2	0.9	26.8	2.2	53.9	17.1
	70歳以上	327	5.8	41.3	8.9	—	31.8	12.2	47.1	8.9

③ 将来介護を必要としないための予防教室の実施

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男女とも概ね年代が高いほど『満足』の割合が高くなり、男女とも概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 将来介護を必要としないための予防教室の実施【性・年代別】

									単位: %	
		調査数	満足している	満足 どちらか といえば	不満 どちらか といえば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.4	20.5	11.2	1.5	60.4	4.0	22.9	12.7
性・年代別	男性計	913	2.2	22.5	12.4	2.5	58.3	2.2	24.7	14.9
	18～29歳	88	5.7	21.6	5.7	1.1	64.8	1.1	27.3	6.8
	30代	91	2.2	6.6	5.5	2.2	83.5	—	8.8	7.7
	40代	147	2.0	13.6	10.2	4.1	68.7	1.4	15.6	14.3
	50代	182	1.1	25.3	12.1	1.6	59.3	0.5	26.4	13.7
	60代	159	1.3	26.4	17.0	2.5	50.9	1.9	27.7	19.5
	70歳以上	235	2.6	29.4	16.2	2.6	44.3	5.1	32.0	18.8
	女性計	1,354	2.4	19.4	10.3	0.8	62.4	4.7	21.8	11.1
	18～29歳	127	3.9	16.5	0.8	1.6	76.4	0.8	20.4	2.4
	30代	191	3.7	13.1	4.7	—	78.5	—	16.8	4.7
	40代	244	3.3	17.6	6.1	0.4	70.9	1.6	20.9	6.5
	50代	223	0.9	22.4	10.3	0.9	63.2	2.2	23.3	11.2
	60代	228	0.9	22.8	17.5	2.6	53.1	3.1	23.7	20.1
70歳以上	327	2.4	21.7	15.3	—	47.7	12.8	24.1	15.3	

④ 高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり

性別にみると、女性では「わからない」(60.7%)の割合が男性(54.2%)に比べて6.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっており、女性でも同様の傾向がみられる。

図表 高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり【性・年代別】

									単位: %	
		調査数	満足している	満足 どちらか といえば	不満 どちらか といえば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.6	18.2	13.5	4.1	57.8	3.8	20.8	17.6
性・年代別	男性計	913	3.4	20.5	14.9	4.7	54.2	2.3	23.9	19.6
	18～29歳	88	10.2	19.3	5.7	1.1	62.5	1.1	29.5	6.8
	30代	91	3.3	4.4	6.6	2.2	83.5	－	7.7	8.8
	40代	147	4.1	13.6	11.6	4.1	65.3	1.4	17.7	15.7
	50代	182	2.2	24.7	14.8	5.5	52.2	0.5	26.9	20.3
	60代	159	1.3	23.9	20.1	9.4	42.8	2.5	25.2	29.5
	70歳以上	235	3.0	25.5	20.4	3.8	42.1	5.1	28.5	24.2
	女性計	1,354	2.1	16.9	12.3	3.8	60.7	4.2	19.0	16.1
	18～29歳	127	6.3	14.2	7.1	1.6	70.9	－	20.5	8.7
	30代	191	3.7	14.1	6.8	2.6	72.8	－	17.8	9.4
	40代	244	2.0	16.8	11.5	4.9	63.5	1.2	18.8	16.4
	50代	223	1.8	17.9	14.3	5.8	58.3	1.8	19.7	20.1
	60代	228	－	15.8	18.9	3.5	59.6	2.2	15.8	22.4
	70歳以上	327	1.2	19.6	12.2	3.1	50.8	13.1	20.8	15.3

⑤ 高齢者や障がい者などの権利を守る取組み(成年後見制度の利用促進など)

性別にみると、女性では「わからない」(69.0%)の割合が男性(59.0%)に比べて10.0ポイント高く、男性では『満足』(22.3%)の割合が女性(15.5%)に比べて6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 高齢者や障がい者などの権利を守る取組み(成年後見制度の利用促進など)【性・年代別】

単位：%										
		調査数	満足している	満足 どちらかといえば	どちらかといえば 不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.2	16.0	10.0	2.9	64.7	4.3	18.2	12.9
性・年代別	男性計	913	3.2	19.1	12.9	3.1	59.0	2.7	22.3	16.0
	18～29歳	88	11.4	18.2	2.3	1.1	65.9	1.1	29.6	3.4
	30代	91	3.3	4.4	6.6	2.2	83.5	－	7.7	8.8
	40代	147	3.4	12.9	13.6	2.0	66.7	1.4	16.3	15.6
	50代	182	2.2	22.0	13.2	4.4	56.6	1.6	24.2	17.6
	60代	159	0.6	23.3	17.6	5.7	50.9	1.9	23.9	23.3
	70歳以上	235	2.6	23.4	15.7	2.1	49.8	6.4	26.0	17.8
	女性計	1,354	1.5	14.0	8.1	2.7	69.0	4.7	15.5	10.8
	18～29歳	127	3.1	15.7	4.7	2.4	74.0	－	18.8	7.1
	30代	191	2.1	11.5	5.2	0.5	80.6	－	13.6	5.7
	40代	244	1.2	13.1	7.0	2.9	74.6	1.2	14.3	9.9
	50代	223	1.8	14.8	8.1	3.6	69.5	2.2	16.6	11.7
	60代	228	－	14.0	12.3	3.1	68.4	2.2	14.0	15.4
	70歳以上	327	1.5	15.0	9.5	3.4	56.6	14.1	16.5	12.9

⑥ 社会的に弱い立場にある方々に対する差別解消に向けた啓発

性別にみると、女性では「わからない」(66.4%)の割合が男性(58.4%)に比べて8.0ポイント高く、男性では『満足』(21.6%)の割合が女性(16.4%)に比べて5.2ポイント、同時に『不満』(18.1%)の割合も女性(12.4%)に比べて5.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 社会的に弱い立場にある方々に対する差別解消に向けた啓発【性・年代別】

単位: %

		調査数	満足している	満足 どちらか といえば	不満 どちらか といえば	不満 がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.3	16.1	11.5	3.3	62.9	4.0	18.4	14.8
性・年代別	男性計	913	3.1	18.5	14.0	4.1	58.4	2.0	21.6	18.1
	18～29歳	88	10.2	21.6	3.4	3.4	60.2	1.1	31.8	6.8
	30代	91	4.4	6.6	6.6	2.2	80.2	－	11.0	8.8
	40代	147	3.4	12.2	11.6	4.1	67.3	1.4	15.6	15.7
	50代	182	2.2	20.3	16.5	4.9	55.5	0.5	22.5	21.4
	60代	159	0.6	18.9	18.9	5.7	54.7	1.3	19.5	24.6
	70歳以上	235	2.1	24.3	17.4	3.0	48.5	4.7	26.4	20.4
	女性計	1,354	1.8	14.6	9.7	2.7	66.4	4.8	16.4	12.4
	18～29歳	127	3.9	21.3	5.5	2.4	66.9	－	25.2	7.9
	30代	191	2.1	14.7	4.2	3.1	75.4	0.5	16.8	7.3
	40代	244	1.6	12.7	11.1	1.6	71.3	1.6	14.3	12.7
	50代	223	1.3	13.9	10.3	3.6	69.1	1.8	15.2	13.9
	60代	228	0.9	14.0	14.0	3.5	64.9	2.6	14.9	17.5
	70歳以上	327	1.8	14.7	10.1	2.1	56.9	14.4	16.5	12.2

⑦ 住民同士の見守りなど地域での支えあいの支援

性別にみると、男性では『不満』(22.4%)の割合が女性(15.0%)に比べて7.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも概ね年代が高いほど『不満』の割合が高くなっている。

図表 住民同士の見守りなど地域での支えあいの支援【性・年代別】

単位：%										
		調 査 数	満 足 し て い る	満 足 ど ち ら か と い え ば	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満 が あ る	わ か ら な い	無 回 答	『満 足 』	『不 満 』
全 体		2,300	3.7	22.8	14.2	3.9	51.5	3.8	26.5	18.1
性・年代別	男性計	913	4.1	22.3	17.7	4.7	49.1	2.1	26.4	22.4
	18～29歳	88	12.5	20.5	4.5	6.8	54.5	1.1	33.0	11.3
	30代	91	3.3	13.2	7.7	2.2	73.6	—	16.5	9.9
	40代	147	2.0	21.1	12.2	5.4	57.8	1.4	23.1	17.6
	50代	182	3.8	26.9	21.4	3.3	44.0	0.5	30.7	24.7
	60代	159	2.5	20.8	23.3	5.0	46.5	1.9	23.3	28.3
	70歳以上	235	3.8	24.3	23.8	5.1	37.9	5.1	28.1	28.9
	女性計	1,354	3.5	23.3	11.7	3.3	53.6	4.5	26.8	15.0
	18～29歳	127	7.1	26.8	4.7	2.4	58.3	0.8	33.9	7.1
	30代	191	4.2	21.5	8.4	2.1	63.9	—	25.7	10.5
	40代	244	4.1	23.0	11.9	0.8	59.0	1.2	27.1	12.7
	50代	223	2.7	19.3	9.9	5.8	60.1	2.2	22.0	15.7
	60代	228	0.9	25.0	16.2	3.9	49.6	4.4	25.9	20.1
	70歳以上	327	3.7	25.1	15.0	4.0	40.4	11.9	28.8	19.0

⑧ 認知症への理解促進、認知症の人や家族への支援

性別にみると、女性では「わからない」(65.7%)の割合が男性(58.2%)に比べて7.5ポイント高く、男性では『不満』(20.9%)の割合が女性(15.0%)に比べて5.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では概ね年代が高いほど『満足』の割合が高くなり、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 認知症への理解促進、認知症の人や家族への支援【性・年代別】

									単位: %	
		調査数	満足している	満足 どちらかといえば	不満 どちらかといえば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	1.9	14.6	13.7	3.8	62.4	3.7	16.5	17.5
性・年代別	男性計	913	2.6	16.1	16.0	4.9	58.2	2.2	18.7	20.9
	18～29歳	88	5.7	18.2	5.7	5.7	63.6	1.1	23.9	11.4
	30代	91	3.3	4.4	5.5	1.1	85.7	－	7.7	6.6
	40代	147	2.7	12.2	16.3	2.7	64.6	1.4	14.9	19.0
	50代	182	2.2	14.3	16.5	7.1	59.3	0.5	16.5	23.6
	60代	159	1.3	18.9	22.6	5.7	49.7	1.9	20.2	28.3
	70歳以上	235	2.6	21.3	19.1	5.1	46.8	5.1	23.9	24.2
	女性計	1,354	1.4	13.7	12.0	3.0	65.7	4.1	15.1	15.0
	18～29歳	127	3.1	18.9	3.9	1.6	71.7	0.8	22.0	5.5
	30代	191	2.6	11.5	6.3	0.5	79.1	－	14.1	6.8
	40代	244	1.2	13.5	13.9	1.6	68.4	1.2	14.7	15.5
	50代	223	0.9	11.2	13.0	4.5	68.6	1.8	12.1	17.5
	60代	228	－	14.5	18.0	5.7	59.6	2.2	14.5	23.7
	70歳以上	327	1.5	14.7	12.2	3.1	56.3	12.2	16.2	15.3

⑨ 障がい者の特性に応じた福祉サービスの提供

性別にみると、女性では「わからない」(65.3%)の割合が男性(57.9%)に比べて7.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では、概ね年代が高いほど『不満』の割合が高くなり、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 障がい者の特性に応じた福祉サービスの提供【性・年代別】

		調査数	満足している	満足どちらかといえば	不満どちらかといえば	不満がある	わからない	無回答	単位: %	
									『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.7	16.5	10.8	4.1	62.0	3.8	19.2	14.9
性・年代別	男性計	913	3.8	18.4	13.0	4.7	57.9	2.1	22.2	17.7
	18～29歳	88	8.0	19.3	2.3	5.7	63.6	1.1	27.3	8.0
	30代	91	2.2	8.8	5.5	3.3	80.2	-	11.0	8.8
	40代	147	6.8	11.6	15.0	4.8	60.5	1.4	18.4	19.8
	50代	182	3.8	19.8	14.8	3.8	57.1	0.5	23.6	18.6
	60代	159	1.3	21.4	15.7	6.3	53.5	1.9	22.7	22.0
	70歳以上	235	3.0	22.6	15.7	4.7	49.4	4.7	25.6	20.4
	女性計	1,354	2.0	15.4	9.3	3.7	65.3	4.4	17.4	13.0
	18～29歳	127	4.7	22.0	3.1	1.6	67.7	0.8	26.7	4.7
	30代	191	2.1	15.2	2.6	3.7	76.4	-	17.3	6.3
	40代	244	1.6	14.3	10.2	4.5	68.0	1.2	15.9	14.7
	50代	223	1.8	12.1	10.3	4.9	69.1	1.8	13.9	15.2
	60代	228	0.9	14.9	14.9	3.5	63.2	2.6	15.8	18.4
	70歳以上	327	1.8	16.2	10.1	3.4	55.7	12.8	18.0	13.5

⑩ 地域での福祉活動を担う人材の育成

性別にみると、女性では「わからない」(66.8%)の割合が男性(58.2%)に比べて8.6ポイント高く、男性では『不満』(23.2%)の割合が女性(15.5%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 地域での福祉活動を担う人材の育成【性・年代別】

		調査数	満足している	満足どちらかといえば	不満どちらかといえば	不満がある	わからない	無回答	単位: %	
									『満足』	『不満』
全 体		2,300	1.8	12.7	13.7	4.9	62.9	3.9	14.5	18.6
性・年代別	男性計	913	2.2	14.3	17.4	5.8	58.2	2.1	16.5	23.2
	18～29歳	88	8.0	17.0	5.7	6.8	62.5	-	25.0	12.5
	30代	91	4.4	4.4	6.6	3.3	81.3	-	8.8	9.9
	40代	147	2.7	8.8	14.3	6.1	66.7	1.4	11.5	20.4
	50代	182	1.6	15.4	19.2	3.3	59.3	1.1	17.0	22.5
	60代	159	-	18.2	22.6	8.2	49.1	1.9	18.2	30.8
	70歳以上	235	0.9	17.0	23.4	6.4	47.7	4.7	17.9	29.8
	女性計	1,354	1.6	11.7	11.4	4.1	66.8	4.4	13.3	15.5
	18～29歳	127	5.5	18.9	3.9	2.4	68.5	0.8	24.4	6.3
	30代	191	2.1	11.0	4.2	2.6	80.1	-	13.1	6.8
	40代	244	0.8	11.9	11.5	2.0	72.5	1.2	12.7	13.5
	50代	223	-	9.9	10.8	5.8	71.3	2.2	9.9	16.6
	60代	228	1.3	11.0	18.0	7.5	59.6	2.6	12.3	25.5
	70歳以上	327	1.2	11.3	14.1	3.7	57.2	12.5	12.5	17.8

⑪ 公共施設・公共交通機関のバリアフリー化

性別にみると、男性では『満足』(39.7%)の割合が女性(33.1%)に比べて6.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では、年代が高いほど『不満』の割合が高くなり、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。女性では年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 公共施設・公共交通機関のバリアフリー化【性・年代別】

単位: %

		調査数	満足している	満足どちらかといえば	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	4.6	31.1	17.4	5.8	37.5	3.7	35.7	23.2
性・年代別	男性計	913	4.7	35.0	15.7	5.9	36.8	1.9	39.7	21.6
	18～29歳	88	13.6	29.5	6.8	4.5	44.3	1.1	43.1	11.3
	30代	91	7.7	24.2	8.8	3.3	56.0	—	31.9	12.1
	40代	147	3.4	30.6	12.2	5.4	46.9	1.4	34.0	17.6
	50代	182	4.4	39.6	19.2	2.2	34.1	0.5	44.0	21.4
	60代	159	3.1	40.9	17.0	8.8	28.9	1.3	44.0	25.8
	70歳以上	235	2.6	37.0	20.4	8.5	27.2	4.3	39.6	28.9
	女性計	1,354	4.4	28.7	18.7	5.8	38.1	4.3	33.1	24.5
	18～29歳	127	11.8	29.9	8.7	5.5	43.3	0.8	41.7	14.2
	30代	191	7.9	26.2	16.8	6.8	41.9	0.5	34.1	23.6
	40代	244	2.5	34.8	15.2	4.5	41.8	1.2	37.3	19.7
	50代	223	3.1	27.4	22.4	6.3	37.7	3.1	30.5	28.7
	60代	228	1.8	30.3	25.0	7.0	33.8	2.2	32.1	32.0
	70歳以上	327	3.7	25.7	19.0	5.5	34.6	11.6	29.4	24.5

⑫ 高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備(手すりの設置など)

性別にみると、女性では「わからない」(52.9%)の割合が男性(46.7%)に比べて6.2ポイント高く、男性では『満足』(29.1%)の割合が女性(23.9%)に比べて5.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも、年代が高いほど『不満』の割合が高くなっている。

図表 高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備(手すりの設置など)【性・年代別】

単位: %

		調査数	満足している	満足どちらかといえば	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	3.7	22.3	15.7	4.7	50.0	3.5	26.0	20.4
性・年代別	男性計	913	4.3	24.8	16.6	5.7	46.7	2.0	29.1	22.3
	18～29歳	88	13.6	25.0	5.7	2.3	52.3	1.1	38.6	8.0
	30代	91	3.3	13.2	9.9	2.2	71.4	－	16.5	12.1
	40代	147	4.8	18.4	10.2	5.4	59.9	1.4	23.2	15.6
	50代	182	3.3	29.7	18.7	3.3	44.5	0.5	33.0	22.0
	60代	159	2.5	26.4	20.8	6.9	42.1	1.3	28.9	27.7
	70歳以上	235	3.0	28.1	23.4	9.4	31.5	4.7	31.1	32.8
	女性計	1,354	3.2	20.7	15.0	4.1	52.9	4.1	23.9	19.1
	18～29歳	127	9.4	19.7	6.3	2.4	61.4	0.8	29.1	8.7
	30代	191	3.7	15.7	9.9	4.2	66.5	－	19.4	14.1
	40代	244	2.5	20.9	12.7	4.5	58.2	1.2	23.4	17.2
	50代	223	1.3	20.6	14.8	4.5	56.5	2.2	21.9	19.3
	60代	228	1.8	21.5	23.7	4.8	45.6	2.6	23.3	28.5
	70歳以上	327	3.4	23.9	16.8	3.7	40.7	11.6	27.3	20.5

⑬ 保健福祉分野での ICT(情報通信技術) 等の利活用

性別にみると、男性では『不満』(17.2%) の割合が女性 (9.9%) に比べて 7.3 ポイント高く、女性では「わからない」(71.6%) の割合が男性 (64.4%) に比べて 7.2 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では、概ね年代が高くなるほど『不満』の割合が高くなっている。また、男性では、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高く、女性でも高くなる傾向がみられる。

図表 保健福祉分野での ICT(情報通信技術) 等の利活用【性・年代別】

									単位: %	
		調査数	満足している	満足 どちらか といえば	不満 どちらか といえば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.0	12.6	10.3	2.5	68.3	4.2	14.6	12.8
性・年代別	男性計	913	2.4	14.0	13.9	3.3	64.4	2.0	16.4	17.2
	18～29歳	88	8.0	18.2	4.5	4.5	63.6	1.1	26.2	9.0
	30代	91	3.3	2.2	7.7	-	86.8	-	5.5	7.7
	40代	147	2.7	12.9	13.6	2.0	67.3	1.4	15.6	15.6
	50代	182	1.6	15.9	13.2	2.7	65.9	0.5	17.5	15.9
	60代	159	0.6	15.7	15.1	5.0	62.3	1.3	16.3	20.1
	70歳以上	235	1.7	14.5	20.0	4.3	54.9	4.7	16.2	24.3
	女性計	1,354	1.6	11.8	7.9	2.0	71.6	5.1	13.4	9.9
	18～29歳	127	6.3	16.5	3.9	0.8	71.7	0.8	22.8	4.7
	30代	191	2.6	13.6	4.7	2.6	76.4	-	16.2	7.3
	40代	244	1.2	11.1	5.7	2.0	78.7	1.2	12.3	7.7
	50代	223	0.9	8.5	9.9	2.7	75.3	2.7	9.4	12.6
	60代	228	-	11.0	12.3	2.6	71.5	2.6	11.0	14.9
	70歳以上	327	0.9	12.5	8.6	1.2	61.8	15.0	13.4	9.8

⑭ 救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築

性別にみると、女性では「わからない」(56.2%) の割合が男性 (48.6%) に比べて 7.6 ポイント高く、男性では『満足』(31.3%) の割合が女性 (24.4%) に比べて 6.9 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では、概ね年代が高いほど『不満』の割合が高くなっている。また、男女とも、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築【性・年代別】

単位: %										
		調査数	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	3.7	23.4	12.1	3.9	52.8	4.0	27.1	16.0
性・年代別	男性計	913	4.5	26.8	12.8	4.9	48.6	2.3	31.3	17.7
	18～29歳	88	14.8	21.6	4.5	2.3	55.7	1.1	36.4	6.8
	30代	91	3.3	11.0	7.7	4.4	73.6	-	14.3	12.1
	40代	147	4.1	21.1	9.5	4.1	59.9	1.4	25.2	13.6
	50代	182	5.5	28.0	13.7	4.9	46.7	1.1	33.5	18.6
	60代	159	1.3	32.7	14.5	7.5	42.1	1.9	34.0	22.0
	70歳以上	235	3.0	33.6	18.3	5.1	34.9	5.1	36.6	23.4
	女性計	1,354	3.1	21.3	11.6	3.2	56.2	4.6	24.4	14.8
	18～29歳	127	7.9	16.5	4.7	2.4	67.7	0.8	24.4	7.1
	30代	191	3.1	18.8	7.3	4.7	66.0	-	21.9	12.0
	40代	244	2.0	24.2	12.3	4.1	56.1	1.2	26.2	16.4
	50代	223	3.1	22.9	10.8	2.7	58.3	2.2	26.0	13.5
	60代	228	1.3	18.0	18.9	4.4	55.3	2.2	19.3	23.3
	70歳以上	327	3.1	23.9	11.9	1.5	46.2	13.5	27.0	13.4

⑮ インフルエンザやO157などの感染症や食中毒の予防

性別にみると、男性では『満足』(36.9%)の割合が女性(30.8%)に比べて6.1ポイント高く、女性では「わからない」(54.1%)の割合が男性(48.6%)に比べて5.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。また、男性では、概ね年代が高いほど『満足』の割合が高くなっており、女性でもその傾向がみられる。

図表 インフルエンザやO157などの感染症や食中毒の予防【性・年代別】

									単位:%	
		調査数	満足している	満足 どちらかといえば	不満 どちらかといえば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	3.8	29.5	9.2	2.3	51.5	3.7	33.3	11.5
性・年代別	男性計	913	4.9	32.0	9.7	2.8	48.6	1.9	36.9	12.5
	18～29歳	88	11.4	27.3	5.7	2.3	52.3	1.1	38.7	8.0
	30代	91	5.5	14.3	4.4	1.1	74.7	－	19.8	5.5
	40代	147	2.7	26.5	7.5	4.1	57.8	1.4	29.2	11.6
	50代	182	5.5	29.1	8.8	2.7	53.3	0.5	34.6	11.5
	60代	159	1.9	35.8	14.5	3.1	43.4	1.3	37.7	17.6
	70歳以上	235	5.5	43.4	12.3	2.6	31.5	4.7	48.9	14.9
	女性計	1,354	3.1	27.7	8.9	1.8	54.1	4.4	30.8	10.7
	18～29歳	127	6.3	22.0	6.3	0.8	63.8	0.8	28.3	7.1
	30代	191	4.7	20.9	4.2	3.7	66.5	－	25.6	7.9
	40代	244	1.2	25.4	9.8	1.6	60.7	1.2	26.6	11.4
	50代	223	2.2	29.6	7.6	1.3	57.0	2.2	31.8	8.9
	60代	228	0.9	28.9	14.0	3.5	49.1	3.5	29.8	17.5
	70歳以上	327	4.6	33.9	9.2	0.6	39.8	11.9	38.5	9.8

⑯ 福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持

性別にみると、女性では「わからない」(62.3%)の割合が男性(53.8%)に比べて8.5ポイント高く、男性では『満足』(23.7%)の割合が女性(17.4%)に比べて6.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。

図表 福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持【性・年代別】

									単位：%	
		調査数	満足している	満足 どちらかといえ ば	不満 どちらかといえ ば	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.5	17.5	13.3	4.6	58.5	3.6	20.0	17.9
性・年代別	男性計	913	3.1	20.6	14.8	5.7	53.8	2.1	23.7	20.5
	18～29歳	88	8.0	19.3	5.7	3.4	62.5	1.1	27.3	9.1
	30代	91	3.3	7.7	3.3	4.4	81.3	-	11.0	7.7
	40代	147	3.4	10.9	13.6	6.8	63.9	1.4	14.3	20.4
	50代	182	3.3	22.5	13.7	5.5	54.4	0.5	25.8	19.2
	60代	159	1.9	22.0	18.2	8.8	47.8	1.3	23.9	27.0
	70歳以上	235	1.7	29.4	22.1	4.3	37.4	5.1	31.1	26.4
	女性計	1,354	2.0	15.4	12.3	3.9	62.3	4.1	17.4	16.2
	18～29歳	127	6.3	16.5	4.7	0.8	70.9	0.8	22.8	5.5
	30代	191	2.6	13.1	5.8	4.2	74.3	-	15.7	10.0
	40代	244	1.2	13.1	11.5	3.3	69.7	1.2	14.3	14.8
	50代	223	1.3	16.1	13.9	5.4	61.0	2.2	17.4	19.3
	60代	228	0.4	15.8	18.0	6.1	57.5	2.2	16.2	24.1
	70歳以上	327	2.1	17.4	14.7	2.8	51.1	11.9	19.5	17.5

⑰ 上記施策などを総合した福岡市の保健福祉全体

性別にみると、女性では「わからない」(58.0%)の割合が男性(49.2%)に比べて8.8ポイント高く、男性では『満足』(30.3%)の割合が女性(22.4%)に比べて7.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも、概ね年代が低いほど「わからない」の割合が高くなっている。また、男性では、概ね年代が高いほど『満足』の割合が高くなっている。

図表 上記施策などを総合した福岡市の保健福祉全体【性・年代別】

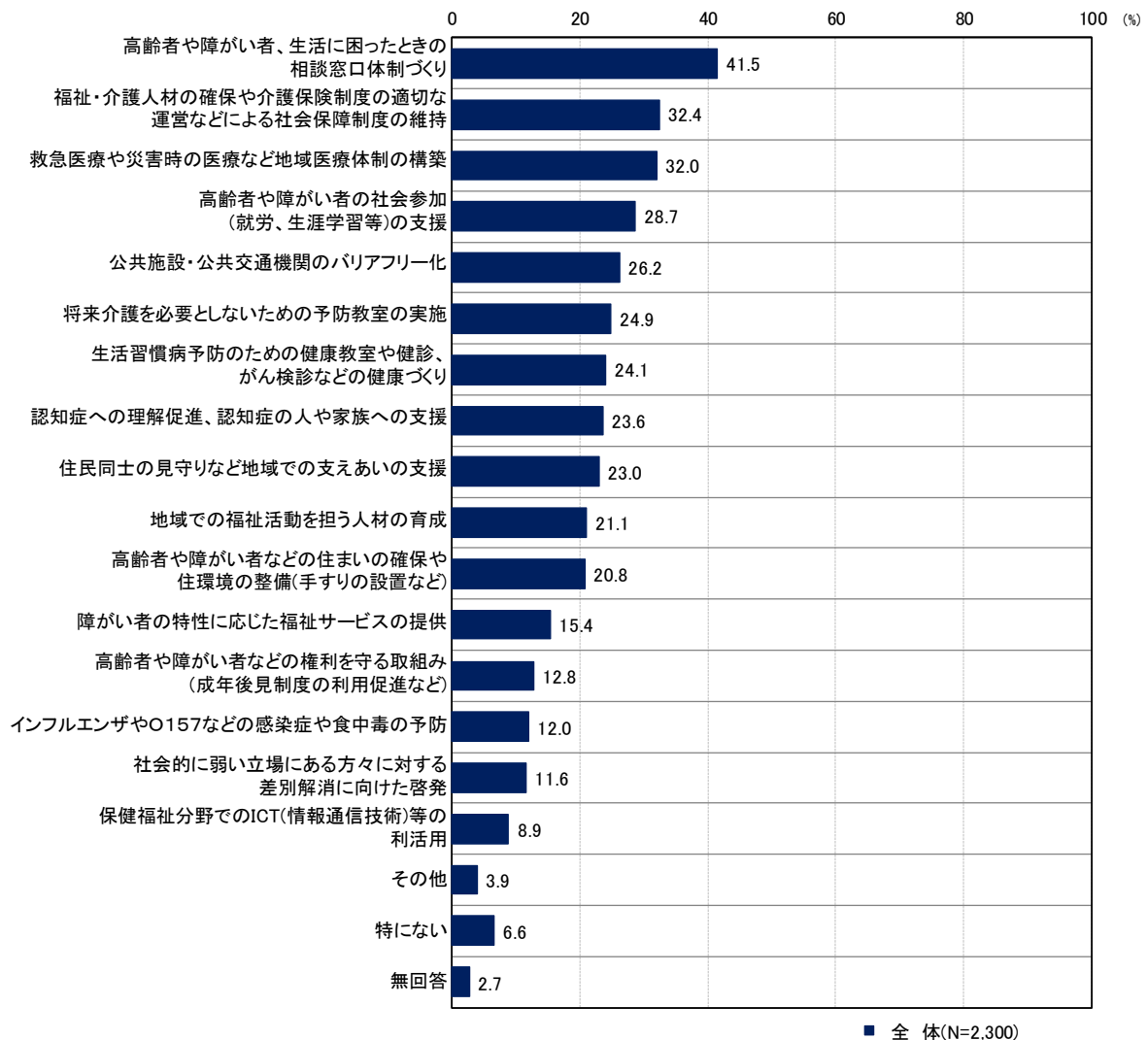
									単位: %	
		調査数	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない	無回答	『満足』	『不満』
全 体		2,300	2.6	22.9	13.3	3.0	54.1	4.1	25.5	16.3
性・年代別	男性計	913	3.2	27.1	14.8	3.7	49.2	2.1	30.3	18.5
	18～29歳	88	10.2	26.1	5.7	2.3	53.4	2.3	36.3	8.0
	30代	91	3.3	9.9	6.6	4.4	75.8	—	13.2	11.0
	40代	147	2.7	19.7	15.0	4.1	57.1	1.4	22.4	19.1
	50代	182	3.8	26.4	17.0	3.8	48.4	0.5	30.2	20.8
	60代	159	1.3	31.4	17.0	6.3	42.8	1.3	32.7	23.3
	70歳以上	235	1.7	36.2	18.3	1.7	37.4	4.7	37.9	20.0
	女性計	1,354	2.1	20.3	12.3	2.6	58.0	4.8	22.4	14.9
	18～29歳	127	5.5	20.5	4.7	—	68.5	0.8	26.0	4.7
	30代	191	3.7	19.9	7.9	2.6	66.0	—	23.6	10.5
	40代	244	1.2	18.9	13.9	1.6	62.7	1.6	20.1	15.5
	50代	223	1.3	19.3	13.9	3.6	59.2	2.7	20.6	17.5
	60代	228	—	19.3	15.4	5.3	57.9	2.2	19.3	20.7
	70歳以上	327	2.1	23.2	13.5	1.8	45.6	13.8	25.3	15.3

(3) 今後福岡市が力を入れていくべき施策

問 19 あなたが、今後福岡市が力を入れていくべきと思うことは何ですか。特にあてはまるものを**5つまで**選んでください。

今後福岡市が力を入れていくべきと思うことについて聞いたところ、「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」が41.5%と最も多く、次いで「福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持」(32.4%)、「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」(32.0%)となっている。

図表 今後福岡市が力を入れていくべき施策【全体】※複数回答（5つまで）



性別にみると、女性では「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」(28.7%)の割合が男性(23.3%)に比べて5.4ポイント高く、男性では「保健福祉分野でのICT(情報通信技術)等の利活用」(11.9%)の割合が女性(6.9%)に比べて5.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも60代では「高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり」の割合が5割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

また、男性18～29歳・30代、女性30代では「救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築」、男性40代では「高齢者や障がい者の社会参加(就労、生涯学習等)の支援」、女性18～29歳では「公共施設・公共交通機関のバリアフリー化」の割合が、今後力を入れていくべき施策として最も高くなっている。

図表 今後福岡市が力を入れていくべき施策【性・年代別】※複数回答(5つまで)

														単位: %
		調査数	高齢者や障がい者、生活に困ったときの相談窓口体制づくり	福祉・介護人材の確保や介護保険制度の適切な運営などによる社会保障制度の維持	救急医療や災害時の医療など地域医療体制の構築	高齢者や障がい者の社会参加（就労・生涯学習等）の支援	公共施設・公共交通機関のバリアフリー化	将来介護を必要としないための予防教室の実施	生活習慣病予防のための健康教室や健診、がん検診などの健康づくり	認知症への理解促進、認知症の人や家族への支援	住民同士の見守りなど地域での支えあいの支援	地域での福祉活動を担う人材の育成	高齢者や障がい者などの住まいの確保や住環境の整備（手ま	障がい者の特性に応じた福祉サービスの提供
全 体		2,300	41.5	32.4	32.0	28.7	26.2	24.9	24.1	23.6	23.0	21.1	20.8	15.4
性・年代別	男性計	913	39.9	31.4	29.9	29.5	23.3	23.9	26.8	22.2	22.1	22.1	22.2	15.6
	18～29歳	88	25.0	20.5	25.0	19.3	23.9	18.2	21.6	11.4	18.2	15.9	15.9	12.5
	30代	91	30.8	23.1	34.1	20.9	22.0	20.9	20.9	17.6	16.5	14.3	8.8	13.2
	40代	147	33.3	25.2	29.9	35.4	27.2	18.4	23.8	15.0	17.7	19.0	17.7	15.0
	50代	182	40.1	37.9	26.9	32.4	23.1	24.2	27.5	27.5	20.9	22.0	22.0	18.7
	60代	159	50.9	34.0	26.4	39.0	24.5	27.7	30.2	20.8	20.1	22.6	27.7	15.7
	70歳以上	235	46.4	36.2	35.3	24.7	20.4	28.5	29.4	29.4	31.9	29.4	28.1	16.2
	女性計	1,354	43.1	33.2	33.8	28.4	28.7	25.6	22.5	24.7	23.2	20.2	19.9	15.4
	18～29歳	127	28.3	21.3	28.3	19.7	30.7	18.1	29.1	17.3	20.5	11.0	11.0	11.0
	30代	191	35.6	30.9	40.8	28.8	31.9	15.7	22.0	16.2	22.5	14.1	15.2	16.2
	40代	244	38.5	25.0	36.1	32.8	31.1	24.2	23.0	21.3	21.7	24.2	16.0	17.6
	50代	223	49.3	35.9	37.7	30.9	28.3	27.4	16.1	35.0	23.3	21.5	25.6	14.8
60代	228	53.1	46.5	34.2	30.3	27.2	29.4	23.7	29.8	22.8	25.4	21.9	15.4	
70歳以上	327	46.2	34.9	27.2	25.4	25.4	31.8	23.2	24.5	26.3	20.2	24.5	16.2	

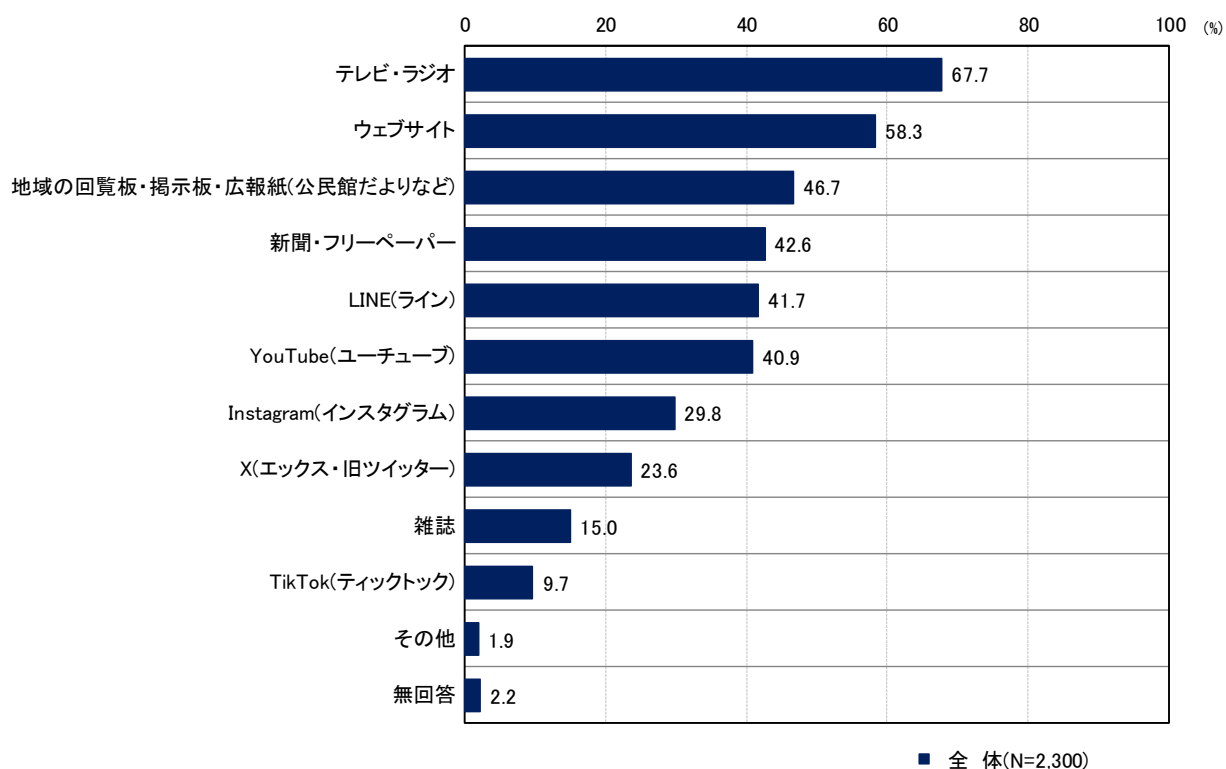
		調 査 数	高 齢 者 や 障 が い 者 な ど の 権 利 を 守 る 取 組 み （ 成 年 後 の 見 制 度 の 利 用 促 進 な ど ）	防 な ど の 感 染 症 や 食 中 毒 の 予	イ ン フ ル エ ン ザ や O 1 5 7	方 々 に 対 す る 差 別 解 消 に 向	社 会 的 に 弱 い 立 場 に あ る	の 利 活 用	保 健 福 祉 分 野 で の 情 報 通 信 技 術 ） 等	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体		2,300	12.8	12.0	11.6	8.9	3.9	6.6	2.7			
性・年代別	男性計	913	13.8	13.0	13.1	11.9	3.9	7.0	2.2			
	18～29歳	88	11.4	17.0	19.3	17.0	3.4	14.8	-			
	30代	91	6.6	12.1	12.1	12.1	7.7	14.3	3.3			
	40代	147	10.2	15.6	9.5	15.6	6.1	8.8	1.4			
	50代	182	18.7	8.8	12.6	16.5	4.9	3.8	0.5			
	60代	159	19.5	11.9	15.1	10.1	1.9	3.1	3.1			
	70歳以上	235	11.9	13.6	12.8	5.1	2.1	4.7	3.8			
	女性計	1,354	12.4	11.4	10.4	6.9	3.8	6.2	2.7			
	18～29歳	127	10.2	12.6	18.1	7.1	3.1	13.4	0.8			
	30代	191	7.9	14.1	11.5	14.7	6.3	5.8	1.0			
	40代	244	12.7	11.9	8.6	5.7	5.3	6.1	0.8			
	50代	223	19.7	4.5	9.4	8.1	5.4	2.2	1.3			
	60代	228	10.5	9.6	7.9	6.1	2.2	5.7	1.3			
	70歳以上	327	12.5	14.7	10.7	3.1	1.8	6.4	6.7			

(4) 情報の入手方法

問 20 あなたは、日頃の暮らしの中で、行政情報に限らず様々な情報収集のためにどの媒体（メディア）を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

日頃の暮らしの中で、行政情報に限らず様々な情報収集のための媒体（メディア）として利用しているものについて聞いたところ、「テレビ・ラジオ」が67.7%と最も多く、次いで「ウェブサイト」(58.3%)、「地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館だよりなど)」(46.7%)となっている。

図表 情報の入手方法【全体】※複数回答（すべて）



性別にみると、女性と男性で5ポイント以上差のあるものとしては、「Instagram(インスタグラム)」(女性 35.7%－男性 21.8%)、「LINE(ライン)」(女性 46.8%－男性 34.7%)、「地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館だよりなど)」(女性 51.6%－男性 39.9%)がある。

性・年代別にみると、男女とも50代以上では「テレビ・ラジオ」、「地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館だよりなど)」、「新聞・フリーペーパー」、18～29歳・30代では「YouTube(ユーチューブ)」、「Instagram(インスタグラム)」、「X(エックス・旧ツイッター)」の割合が高く、女性18～29歳では「TikTok(ティックトック)」の割合も高くなっている。また、男女とも30～60代では「ウェブサイト」の割合が情報入手の媒体として最も高くなっている。

図表 情報の入手方法【性・年代別】※複数回答(すべて)

単位：％														
		調 査 数	テレビ・ラジオ	ウェブ サイト	地域の回覧板・ だよりなど	新聞・フリーペーパー	LINE（ライン）	YouTube（ユーチューブ）	Instagram（インスタグラム）	X（エックス・旧ツイッター）	雑誌	T i k T o k（ティックトック）	その他	無回答
全 体		2,300	67.7	58.3	46.7	42.6	41.7	40.9	29.8	23.6	15.0	9.7	1.9	2.2
性・年代別	男性計	913	68.0	61.8	39.9	42.4	34.7	43.7	21.8	24.2	13.9	7.9	2.1	1.5
	18～29歳	88	42.0	67.0	13.6	14.8	53.4	68.2	48.9	63.6	4.5	23.9	1.1	1.1
	30代	91	56.0	82.4	15.4	23.1	42.9	56.0	45.1	52.7	6.6	13.2	1.1	1.1
	40代	147	56.5	75.5	25.2	34.0	37.4	51.7	27.2	32.0	12.2	10.2	2.7	1.4
	50代	182	64.3	80.2	40.1	43.4	37.9	51.1	27.5	24.2	13.7	8.2	1.6	0.5
	60代	159	79.9	68.6	46.5	45.3	34.0	46.5	11.3	11.9	17.6	1.9	1.3	1.3
	70歳以上	235	84.3	25.1	64.7	63.4	22.6	18.7	2.6	3.0	18.7	2.6	3.4	3.0
	女性計	1,354	67.6	57.0	51.6	42.8	46.8	39.4	35.7	23.4	15.9	11.0	1.7	2.1
	18～29歳	127	48.0	64.6	13.4	10.2	62.2	66.1	73.2	65.4	7.1	42.5	0.8	0.8
	30代	191	47.1	74.9	40.8	28.8	59.2	50.3	61.3	44.0	13.6	17.8	2.1	0.5
	40代	244	56.6	79.1	42.6	36.1	55.7	45.9	54.5	27.5	11.5	12.3	0.4	0.8
	50代	223	73.1	76.2	51.6	43.9	54.3	42.6	39.5	22.4	17.9	9.4	1.3	0.4
	60代	228	82.5	51.3	62.3	51.3	47.4	38.6	16.7	11.4	21.5	4.4	1.8	1.8
	70歳以上	327	81.3	18.3	71.9	61.5	22.3	17.4	3.7	1.8	18.3	－	2.8	5.5

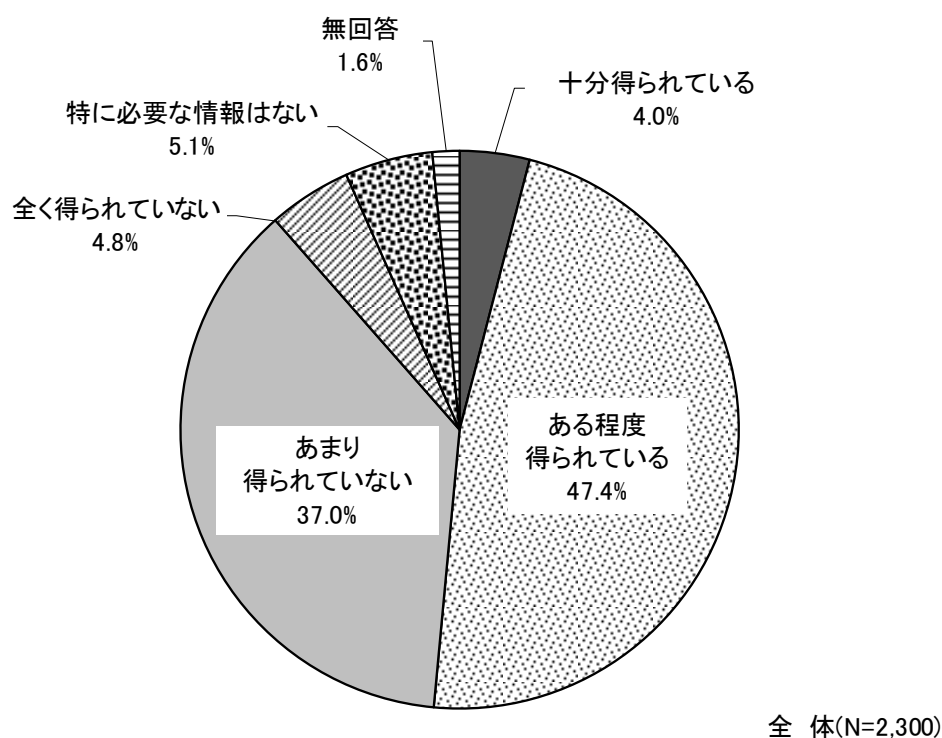
(5) 保健・医療・福祉に関する必要な情報の入手度

問 21 あなたは、日頃の暮らしの中で、保健・医療・福祉に関する必要な情報を得ることができていますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

日頃の暮らしの中で、保健・医療・福祉に関する必要な情報を得ることができているかどうかについて聞いたところ、「ある程度得られている」が47.4%と最も多く、次いで「あまり得られていない」(37.0%)となっている。

また、『得られている』(=「十分得られている」+「ある程度得られている」)の割合は51.4%となっている。一方、『得られていない・必要ない』(=「全く得られていない」+「あまり得られていない」+「特に必要な情報はない」)の割合は46.9%となっている。

図表 保健・医療・福祉に関する必要な情報の入手度【全体】

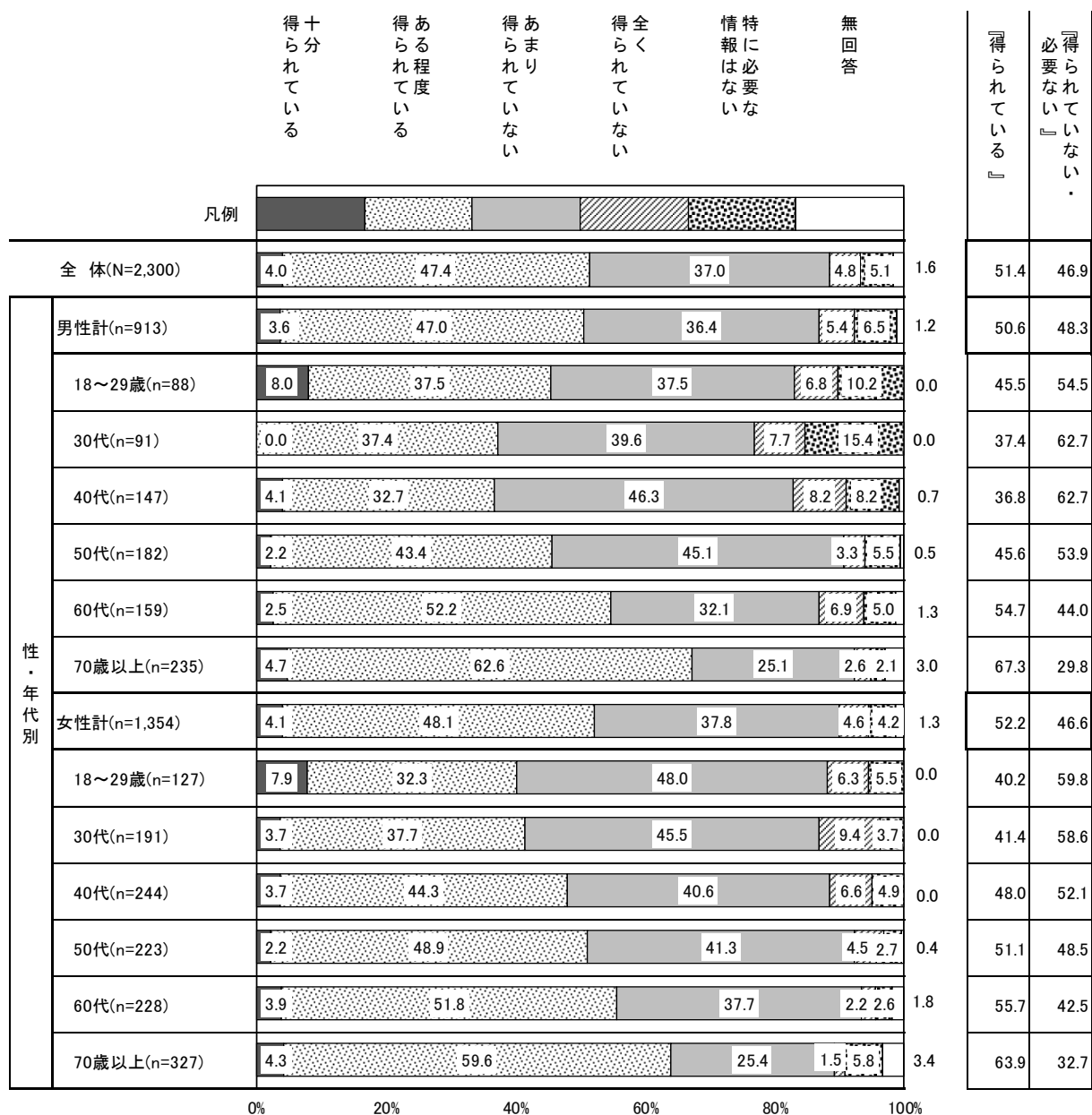


『得られている』	51.4%
『得られていない・必要ない』	46.9%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、女性では年代が高いほど『得られている』の割合が高くなっており、男性でも年代が高いほど割合が高くなる傾向がみられ、女性 70 歳以上で 63.9%、男性 70 歳以上で 67.3%となっている。

図表 保健・医療・福祉に関する必要な情報の入手度【性・年代別】

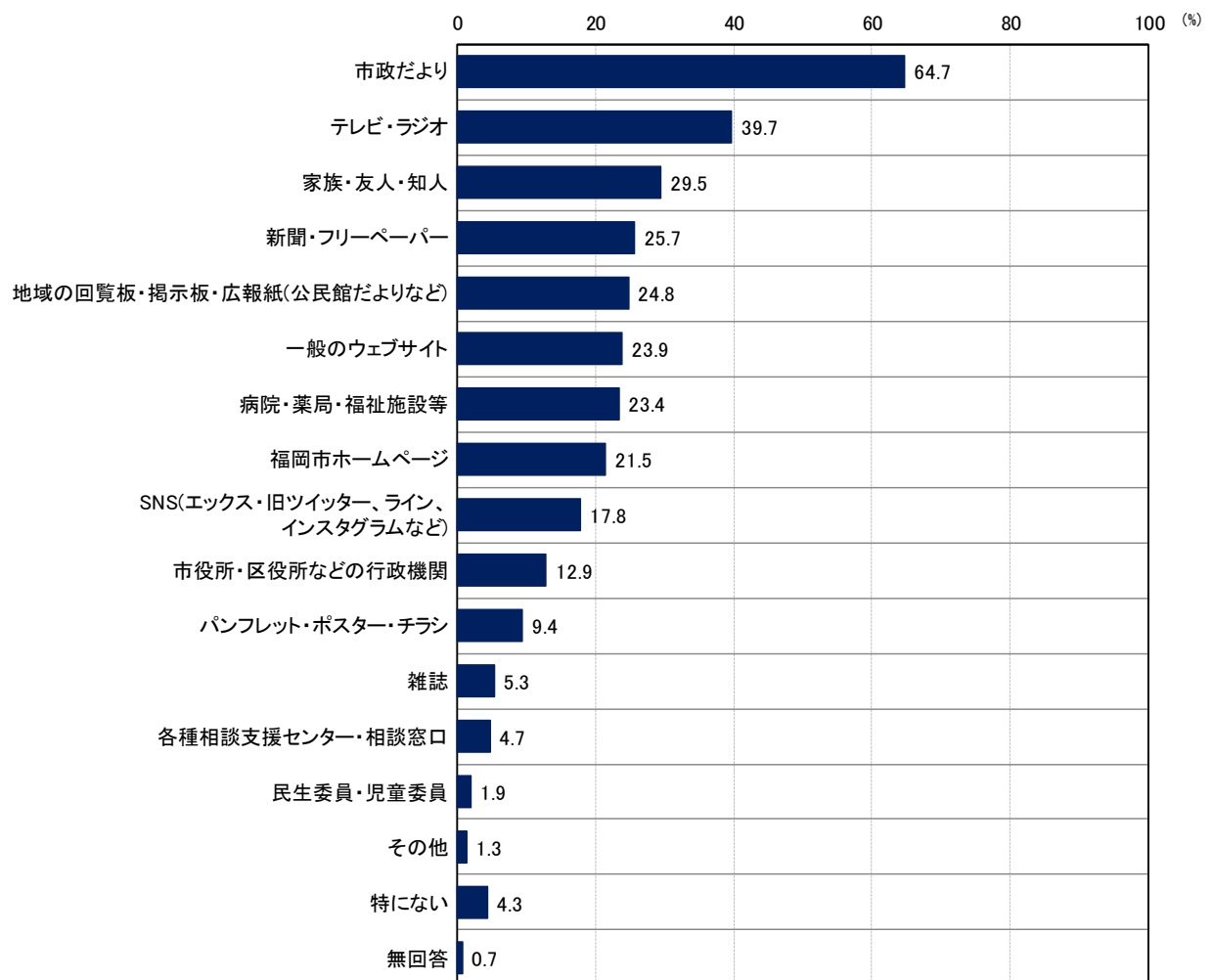


（６）保健・医療・福祉に関する情報の入手方法

問 22 あなたは、日頃の暮らしの中で、保健・医療・福祉に関する情報をどこから（だれから）得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

日頃の暮らしの中で、保健・医療・福祉に関する情報の入手先について聞いたところ、「市政だより」が 64.7%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」（39.7%）。「家族・友人・知人」（29.5%）となっている。

図表 保健・医療・福祉に関する情報の入手方法【全体】※複数回答（すべて）



■ 全 体(N=2,300)

性別にみると、女性と男性で5ポイント以上差のあるものとしては、「市政だより」(女性 68.9%－男性 58.5%)、「家族・友人・知人」(女性 33.2%－男性 24.1%)、「SNS(エックス・旧ツイッター、ライン、インスタグラムなど)」(女性 20.2%－男性 14.5%)の割合は女性が高く、「テレビ・ラジオ」(男性 42.5%－女性 37.4%)の割合は男性が高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも年代が低いほど「SNS(エックス・旧ツイッター、ライン、インスタグラムなど)」の割合は高く、男女とも18～29歳では情報の入手方法の中では最も高くなっている。また、男性70歳以上、女性60代・70歳以上では「市政だより」の割合が8割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 保健・医療・福祉に関する情報の入手方法【性・年代別】※複数回答(すべて)

		調査数	市政だより	テレビ・ラジオ	家族・友人・知人	新聞・フリーペーパー	地域の回覧板・掲示板・広報紙(公民館など)	一般のウェブサイト	病院・薬局・福祉施設等	福岡市ホームページ	SNS(エックス・旧ツイッター、ライン、インスタグラムなど)	市役所・区役所などの行政機関	パンフレット・ポスター・チラシ	雑誌	各種相談支援センター・相談窓口	民生委員・児童委員	その他	特にない	無回答
全 体		2,300	64.7	39.7	29.5	25.7	24.8	23.9	23.4	21.5	17.8	12.9	9.4	5.3	4.7	1.9	1.3	4.3	0.7
性・年代別	男性計	913	58.5	42.5	24.1	27.4	23.1	25.2	23.4	22.0	14.5	12.7	7.9	6.0	3.9	2.1	1.6	5.9	0.5
	18～29歳	88	30.7	33.0	34.1	6.8	4.5	22.7	12.5	19.3	37.5	6.8	8.0	3.4	2.3	—	2.3	11.4	—
	30代	91	40.7	25.3	18.7	7.7	11.0	37.4	22.0	20.9	20.9	11.0	5.5	6.6	4.4	—	1.1	12.1	—
	40代	147	47.6	25.2	17.0	17.7	15.6	33.3	12.9	23.8	17.7	10.2	8.2	1.4	4.1	—	1.4	8.8	1.4
	50代	182	53.3	34.1	25.8	19.8	21.4	25.3	19.8	25.8	13.7	10.4	8.2	3.8	5.5	0.5	3.8	5.5	—
	60代	159	68.6	57.9	23.3	36.5	31.4	35.2	23.3	27.7	10.1	11.3	7.5	10.1	3.8	1.9	0.6	2.5	—
	70歳以上	235	80.0	60.0	25.5	48.5	35.7	9.4	36.6	15.7	5.5	19.6	8.9	8.5	3.0	6.0	0.9	2.1	1.3
	女性計	1,354	68.9	37.4	33.2	24.4	26.1	23.1	23.4	21.5	20.2	13.0	10.6	4.7	5.3	1.6	1.0	3.2	0.4
	18～29歳	127	22.8	19.7	36.2	4.7	7.9	22.8	17.3	11.8	45.7	9.4	5.5	—	4.7	—	2.4	7.9	—
	30代	191	51.8	24.1	33.5	14.1	17.8	30.4	24.6	24.6	42.4	11.0	13.1	2.1	5.8	1.0	—	2.6	—
	40代	244	66.8	22.1	24.6	14.8	18.9	31.1	17.2	28.3	25.0	10.2	7.8	0.8	4.9	0.4	2.0	4.9	—
	50代	223	72.6	33.6	31.4	17.9	22.9	35.9	23.8	29.6	15.7	9.0	9.4	5.4	8.5	—	1.8	0.9	—
	60代	228	84.2	52.2	30.7	35.1	31.6	18.9	26.3	22.4	11.0	15.8	11.4	7.0	4.8	1.8	0.9	2.6	0.9
	70歳以上	327	85.6	55.7	41.9	42.5	41.3	7.0	27.5	11.9	4.0	18.7	12.8	8.3	4.0	4.6	—	2.1	1.2

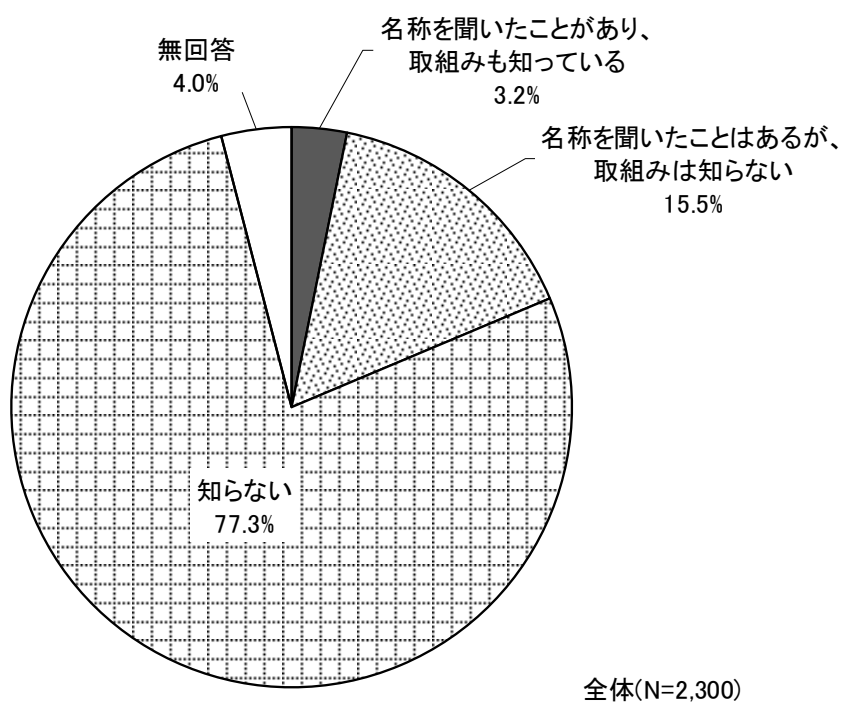
(7)「福岡 100」の認知状況

問 23 あなたは「福岡 100」についてどの程度知っていますか。あてはまるものを
1つだけ選んでください。

「福岡 100」について聞いたところ「知らない」が77.3%と最も多く、次いで「名称を聞いたことはあるが、取組みは知らない」(15.5%)となっている。

『聞いたことがある』(=「名称を聞いたことがあり、取組みも知っている」+「名称を聞いたことはあるが、取組みは知らない」)は18.7%となっている。

図表 「福岡 100」の認知状況【全体】

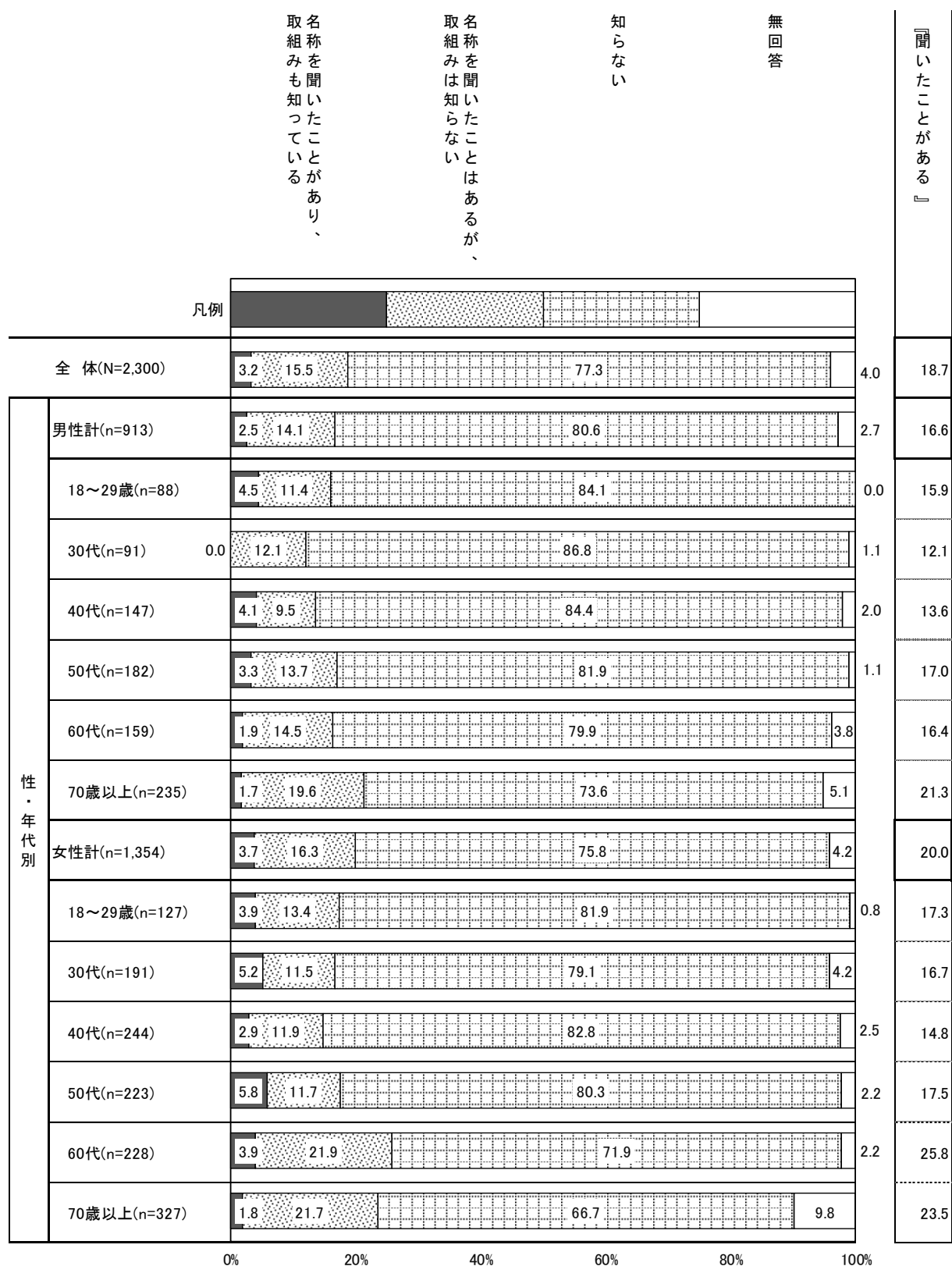


『聞いたことがある』 18.7%

性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 70 歳以上、女性 60 代・70 歳以上では『聞いたことがある』の割合が 2 割台となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 「福岡 100」の認知状況【性・年代別】



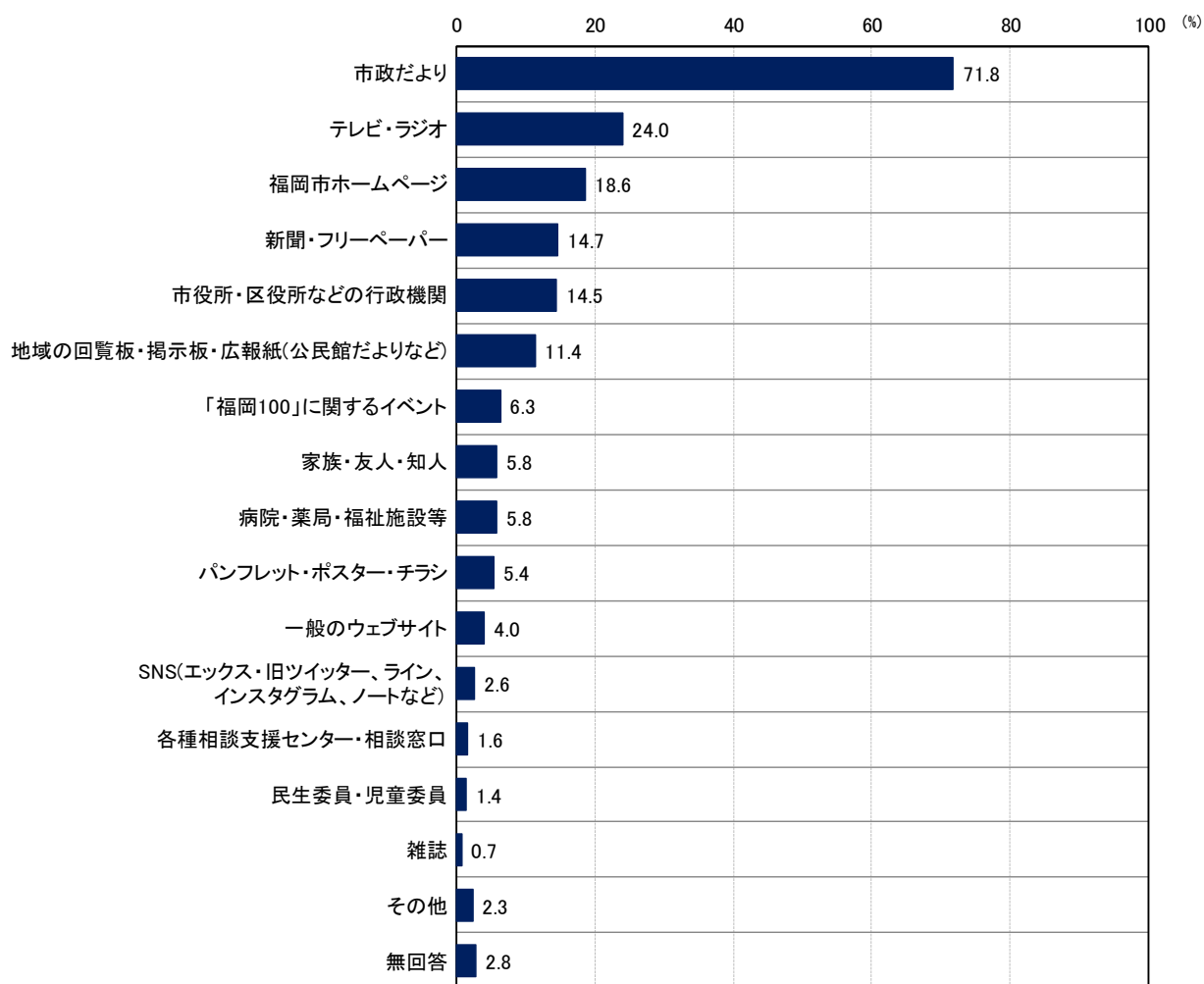
(8)「福岡 100」の認知経路

問 24 <問 23 で「1」「2」と回答した方におたずねします>

「福岡 100」について、どこで知りましたか（聞きましたか）。あてはまるものを
すべて選んでください。

「福岡 100」の認知経路についてきいたところ、「市政だより」が 71.8%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」(24.0%)、「福岡市ホームページ」(18.6%) となっている。

図表 「福岡 100」の認知経路【全体】※複数回答（すべて）



■ 全 体(n=429)

性別にみると、女性では「テレビ・ラジオ」（26.6％）の割合が男性（20.4％）に比べて6.2ポイント高く、男性では「福岡市ホームページ」（22.4％）の割合が女性（16.6％）に比べて5.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性では、年代が高いほど「市政だより」の割合が高くなっている。

図表 「福岡 100」の認知経路【性・年代別】※複数回答（すべて）

		単位：％																	
		調査数	市政だより	テレビ・ラジオ	福岡市ホームページ	新聞・フリーペーパー	市役所・区役所などの行政機関	地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だよりなど）	「福岡１００」に関するイベント	家族・友人・知人	病院・薬局・福祉施設等	パンフレット・ポスター・チラシ	一般のウェブサイト	SNS（エックス・旧ツイッター、ライン、インスタグラム、ノートなど）	各種相談支援センター・相談窓口	民生委員・児童委員	雑誌	その他	無回答
全 体		429	71.8	24.0	18.6	14.7	14.5	11.4	6.3	5.8	5.8	5.4	4.0	2.6	1.6	1.4	0.7	2.3	2.8
性・年代別	男性計	152	73.7	20.4	22.4	16.4	17.1	9.2	5.3	4.6	5.9	4.6	5.3	3.3	2.6	2.0	0.7	0.7	0.7
	18～29歳	14	50.0	21.4	14.3	－	－	－	7.1	－	14.3	－	14.3	14.3	－	－	7.1	－	－
	30代	11	90.9	9.1	9.1	－	－	－	－	－	18.2	－	－	9.1	－	－	－	－	－
	40代	20	70.0	5.0	25.0	5.0	15.0	－	10.0	－	5.0	5.0	10.0	－	－	－	－	－	－
	50代	31	64.5	9.7	29.0	9.7	25.8	12.9	9.7	12.9	－	6.5	6.5	6.5	3.2	－	－	－	3.2
	60代	26	69.2	23.1	26.9	15.4	26.9	7.7	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8	－	7.7	3.8	－	3.8	－
	70歳以上	50	86.0	34.0	20.0	34.0	16.0	16.0	2.0	4.0	6.0	4.0	2.0	－	2.0	4.0	－	－	－
	女性計	271	71.6	26.6	16.6	14.0	13.3	12.9	7.0	6.6	5.9	5.9	3.3	2.2	1.1	1.1	0.7	3.0	2.6
	18～29歳	22	13.6	18.2	18.2	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	－	4.5	18.2	4.5	4.5	－	－	18.2	－
	30代	32	65.6	12.5	12.5	3.1	9.4	6.3	6.3	6.3	6.3	9.4	3.1	3.1	－	－	－	6.3	3.1
	40代	36	66.7	27.8	16.7	2.8	11.1	13.9	5.6	2.8	5.6	11.1	5.6	－	－	－	－	－	2.8
	50代	39	74.4	30.8	23.1	12.8	2.6	10.3	7.7	2.6	5.1	2.6	5.1	5.1	2.6	－	－	2.6	－
	60代	59	74.6	18.6	23.7	15.3	20.3	11.9	10.2	6.8	6.8	3.4	－	－	1.7	1.7	－	1.7	5.1
70歳以上	77	88.3	39.0	10.4	26.0	16.9	20.8	6.5	10.4	7.8	5.2	－	2.6	－	2.6	2.6	－	2.6	

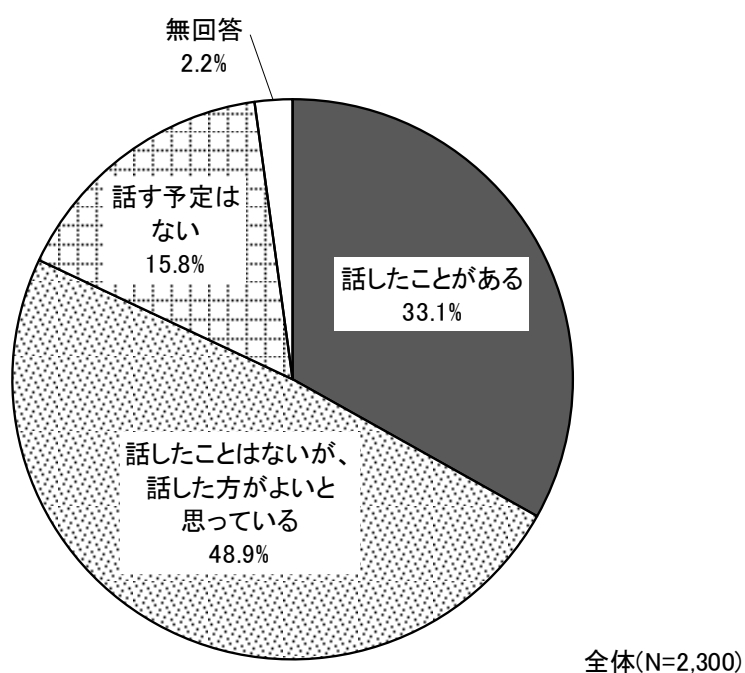
(9) 終活について家族と話したこと

問 25 《すべての方におたずねします。》

あなたは、家族と終活について話したことがありますか。あてはまるものを**1つだけ**選んでください。

家族と終活について話したことがあるかについて聞いたところ、「話したことはないが、話した方がよいと思っている」が48.9%と最も多く、次いで「話したことがある」(33.1%)、「話す予定はない」(15.8%) となっている。

図表 終活について家族と話したこと【全体】



性別にみると、男性では「話す予定はない」(22.5%)の割合が女性(11.6%)に比べて10.9ポイント高く、女性では「話したことがある」(36.0%)の割合が男性(29.8%)に比べて6.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性では、年代が高いほど「話したことがある」の割合が高く、概ね年代が低いほど「話す予定はない」の割合が高くなっている。また、女性では、概ね年代が高いほど「話したことがある」の割合が高くなっており、概ね年代が低いほど「話す予定はない」の割合が高くなっている。

図表 終活について家族と話したこと【性・年代別】

